

人権の理解を深める 令和5年度甲佐町「人権週間」

12月4日（月）から10日（日）にかけて、令和5年度甲佐町「人権週間」が実施されました。

同週間は、同実行委員会（沼田峰子委員長）、町、町教育委員会が共催。部落差別（同和問題）をはじめとするあらゆる人権問題の解決や、基本的人権の尊重、町民の人権意識の高揚を図ることを目的に、毎年実施。

期間中は、人権（法律）相談の開設、街頭や企業訪問による人権啓発広報活動の実施、書道など人権作品の展示も行われました。

12月9日（土）町生涯学習センター・ホールで第41回甲佐町人権週間町民集会を開催。約140人が参加し、町内の児童・生徒による人権作文や体験活動の発表などがありました。

同集会では、真和中学・高等学校情報科講師の戸田俊文さんが「インターネットと子どもの人権～ネット社会をかしく豊かに生きるために～」という演題で講演。終了後は、市街地をパレードして人権啓発を呼び掛けました。

▼人権啓発のパレードを行う参加者の皆さん



▲インターネットによる人権侵害について講演した戸田俊文さん



▲乙女小児童たちが今年度行った人権に関する取り組みを発表



▲田中代表取締役（左）に感謝状を手渡す師富副町長

町への寄附企業に感謝状 企業版ふるさと納税制度

11月14日（火）町本庁舎で本町へ寄附いただいた株式会社モアコンセプト（田中慎二代表取締役）に感謝状が贈られました。今回、同社からいただいた寄附金は、安定した「しごと」を創出する基盤づくりや関係人口の創出と定住促進などを基本目標とする「甲佐町まち・ひと・しごと創生推進計画」に基づく事業のために活用します。



▲全国大会で銀賞を受賞した左座さん親子の合唱

左座さん親子が全国大会で銀賞 第38回童謡こどもの歌コンクールグランプリ大会

11月12日（日）東京都で開催された第38回童謡こどもの歌コンクールグランプリ大会に左座守さん・由紀さん・彩音さん・彰さん（下田口区）が家族で出場し、大人の部で銀賞を受賞しました。左座守さんは「大舞台で緊張しましたが、家族みんなでいつもどおりの合唱ができました。機会があれば、今後も大会に挑戦したいです」と話しました。



▲バスの乗車体験を行う子どもたち

バス乗車体験楽しかった！ 令和5年度「子どもふれあいデー」

11月26日（日）町民センターで令和5年度「子どもふれあいデー」が開催されました。同イベントは、子どもたち同士のふれあいを通して、児童らに優しい心や協調性を育んでもらうことを目的に町が開催。参加した子どもたちは、熊本バス株式会社の協力のもと行われた公共バスへの乗車体験や射的ゲーム、ペタンク、綿菓子づくりなどを通じた交流を楽しみました。



▲今回、コミュニティ助成事業で整備されたテント

いざというとき備えて 有安区自主防災会がコミュニティ助成事業を活用

有安区自主防災会（金森清美会長）では、コミュニティ助成事業を活用し、災害時の避難所の受付や炊き出しに使えるテントなどを整備しました。コミュニティ助成事業は、地域住民が自主的に結成した組織の防災活動を支援することを目的に（一財）自治総合センターが実施。宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじ受託事業収入を財源に実施しています。



▲甲斐町長（左）が福井事務所に要望書を提出

緑川の河川整備の促進を 国土交通省に町が堤防整備などを要望

11月17日（金）本町を貫流する一級河川・緑川の管理を行う国土交通省熊本河川国道事務所に対して、堤防の整備などの河川整備促進について要望活動を行いました。甲斐高土町長は「気候変動によって激甚化する水災害に対し、緑川沿川における地域住民の安心・安全な暮らしを守るために河川整備の促進をお願いいたします」と述べ、要望書を福井事務所に手渡しました。



▲天体望遠鏡で星の観察を行う参加者の皆さん

子どもたちが星を観察 乙女小学校で星の観察会を開催

12月8日（金）乙女小学校で星の観察会が開催されました。星の観察会は、星空の観察をとおりて自然や宇宙の神秘に触れてもらうことを目的に甲佐町青少年健全育成町民会議（甲斐高土会長）と町教育委員会が実施。参加した子どもたち34人は天文家の坂本敏博さん（上田口区）の説明を聞きながら天体望遠鏡で土星や木星などを観察しました。